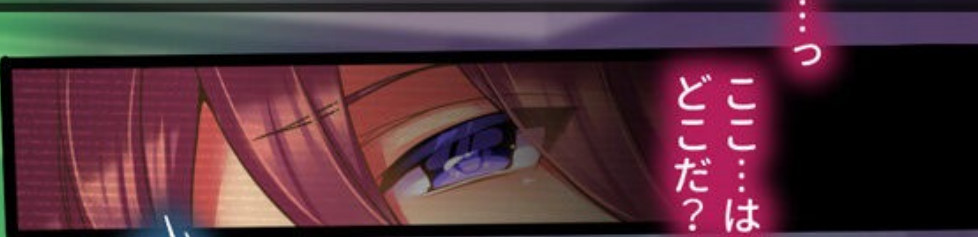




あつ、ああああ...

人格液体化
人格お漏らし
人格異物混入
人格入れ替え

原作：なまむぎ 作画：れいとうみかん
制作協力：あむあいおかし製作所



中にいるのは
オーク…
それにサキュバス？

あの機械は
…なんだ？

…っ
ここ…は…
どこだ？

人格液体化
人格お漏らし
人格異物混入
人格入れ替え



ひ、
姫さまっ！

！

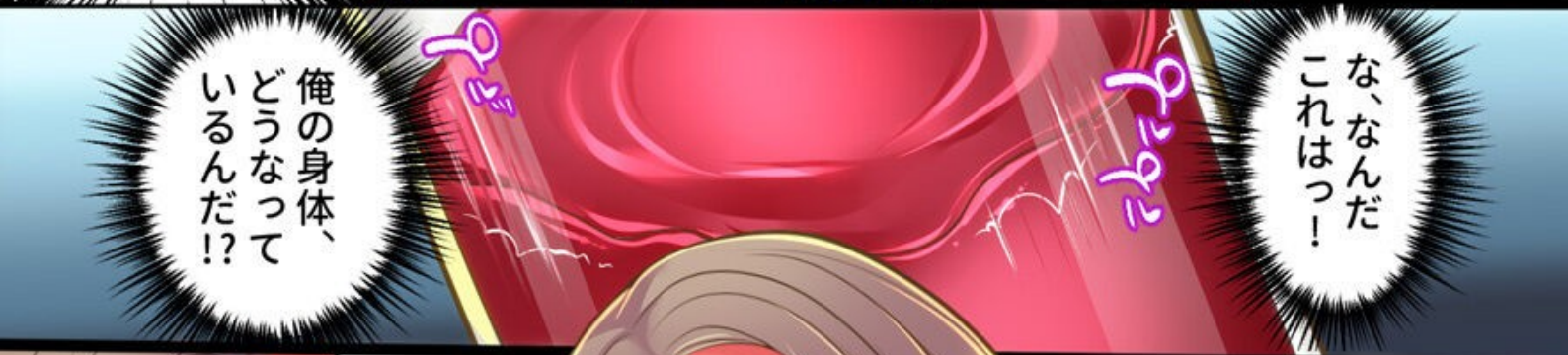
そ、そしてその
隣にいるのは…

俺？



な、なぜおれが
あそこにいるんだ!!?
俺の身体が
あそこにあるなら、
今の俺は…?

!!?



俺の身体、
どうなっ
ているんだ!?

な、なんだ
これはっ!



ワシの開発した
薬の効果で、人格だけ
取り出されてみた
気分は
んんん…

どうだい
勇者サマ

さーて
そろそろ
勇者サマも
お目覚めかな?

お、
おまえは…

『白衣の
魔女』…っ

…そうだ

こいつは最近に
なって東の森に
すみ着いた魔女…

通称
「白衣の魔女」

前々から辺境で
悪事をしていると
噂には聞いていた

しかし先日になって
こいつはあろうことか、
我が国の姫さまを
誘拐したのだ

勇者
さまっ!!

おれは魔女を
討伐し、姫様を
救出しようとした

…しかし、
魔女は強かった

ただの魔法とも違う、
見たこともない
武器を使ってきて…



おれはこいつに
敗北した…

人格だけを
液体化され、
身体から取り
出されてみた
気分はどうだ、
ええ？

じ、人格の、
液体化だと…？

ははっ、偉そうに
勇者サマなんて
呼ばれてても、
こうなりや
ざまあないな

もしかして
今のおれは、
身体から人格だけを
取り出された
状態なのか？

くそつきさま！

おれを身体に
もどせっ！

それに、
姫さまを…！

何か言いたげに
プルプルピクピク
揺れてるなあ

でもそのザマじゃあ、
何を言いたいのか
ちーっともわからんがね

や、やめろ、
振りまわすな！

くそっ

自分の身体さえ
あればこんな奴の
思うようには
させないのに…っ！



な、何を
する！



そんならお望み
通り生身の身体を
与えてやるよ



ふふっ、
悔しいか？
生身の身体が
欲しいか？

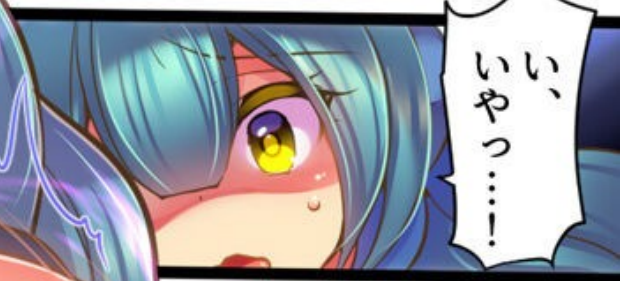


あっ、ああああ…

おれが…姫さまの
身体の中に…
送り込まれ…て…



ククク…



い、
いやっ…！



きゃあっ！

な、なんだ
…っ！



ま、まさか...
お、おれが姫さまの
お身体に...っ!?



きゅん、きゅん、きゅん、きゅん……っ！

ははっ、お楽しみはまだまだこれからだぜ？



どうだい勇者さま？

くっく……

姫さまの身体へ侵入してみた気分は



な、なにを……

せつな



……っ!?

な、なんだっ……？
腹の中に
妙な圧迫感が……

尿意？
……いや違う

身体の中から、
何かが外へ出ようと
している感覚が
するだろう？

それはな、
その身体の持ち主の、
お姫さまの人格だよ

つ！
ああ…

なんだよ
これっ！

何かがで、
出そうだ…っ！

教えて
やるよ

1つの身体に2つの
人格は宿れないんだ

1つの人格が
身体に入ったら、
元の人格は体外へ押し
出されるしかないのさ

ひ、姫さまの
…人格？

ああ

お姫さまの人格がな、
侵入してきたお前の
人格に押し出されて
いるのさ

そ、そん
…な…！

う、うそだ…！



お姫様

守るべき
お姫さまの人格を、
無様にお漏らしなんて
しないよなあ？

ぐうっ…!!



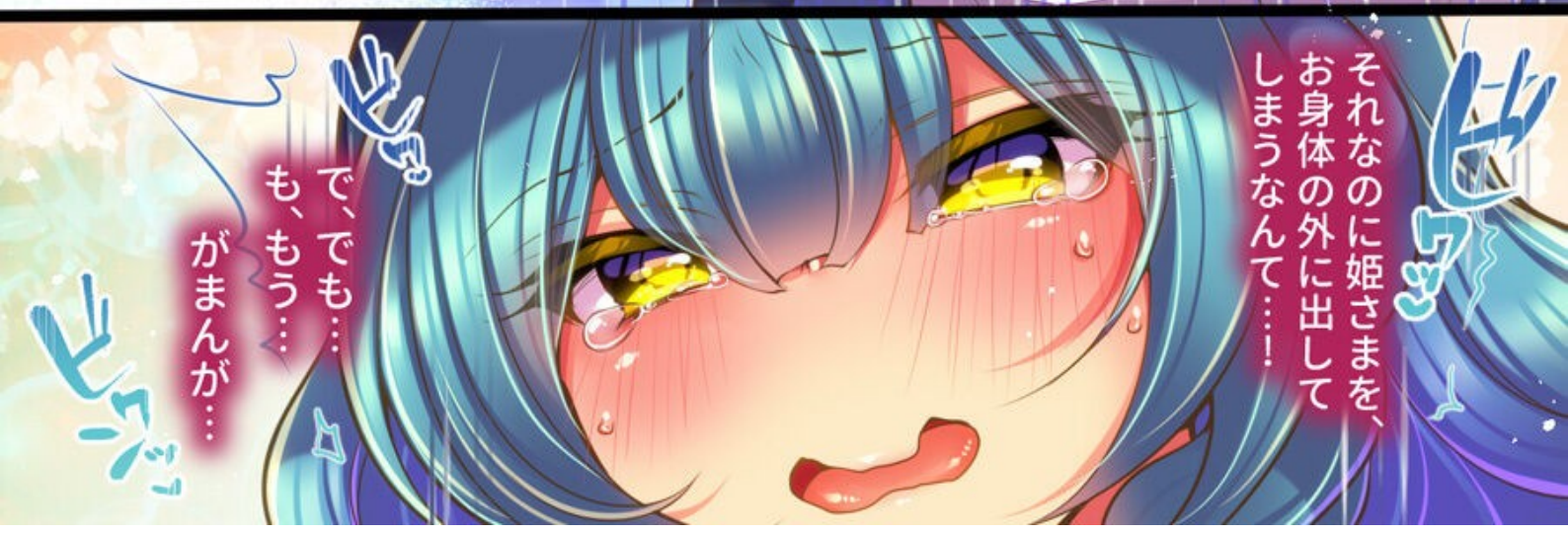
だ、
だめだっ！
僕は姫さまを
守る誓いを
立てた身！



…っあああ！

ほーら頑張って
耐えろよ、勇者さま

お前はお姫さまを
守るのが義務
なんだろう？



それなのに姫さまを、
お身体の外に出して
しまうなんて…!!

で、でも…
も、もう…
がまんが…

…も、申し訳…
申し訳ありませんっ…
姫さまっ…！

おれっ、姫さまのハートを
お守りしなければ
いけないのに…

姫さまのハート
お守りできな…っ

ははっ

盛大に
ぶちまけた
もんだなあ

さすが
お姫さまの人格液

きれいな
モンだな

おれっ…っ

今すぐ姫さまを
元の…このお身体に
お戻ししろっ!

できるん
だろっ!?

ん〜?

できるさ

だがダメだね

な、なに
を…っ!

お前たち
この世界の
住人は、

ワシの
おもちゃ兼
モルモット
なのだぞ?

せっかくあの
窮屈な元の世界を
抜け出して来たんだ

もっともっと、
ワシを楽しませて
もらわなければ

元の…
世界…?

ふふふっ

この世界には、
人権がどうと
五月蠅い連中も
いない

天才のワシを理解せず、
学会から追放した
頑迷な奴らもいない

ワシの実験や
楽しみを邪魔をする、
強大な国家権力もない

なんと素晴らしい
世界じゃないか、

なあ?

な、なんだ
それは…？

あそこにいる
オークから抽出
した人格液だよ

オ、オーク
の…？

ああ

繁殖力が
強くて、
性欲旺盛

フゴフゴブヒブヒ
鳴きながら、メスと
みれば犯すことしか
考えられない
性欲モンスターだ

そのオークから
抽出した
この人格液を…

お姫さまの人格に
混ぜ込んだら
どうなるのかな？

なっ…

お、おい！
や、やめろっ！



姫さまに
何をすするっ！

ははっ、清楚な
お姫さまの人格に
下劣なオークの
人格を混ぜ込むと
どうなるか！

ズブ...

好奇心が
疼く！

ほくら
ほくら

きれいだった
お姫さまの
人格液が、

みるみる
濁っていくぞ

ズ...

ズ...

あつ...
あああつ...

ズブ...

だ、ダメだつ、
止めてくれっ...

姫さま、姫さまを
汚さないでくれ...

お願いだから...
やめてくれ...



ふふっ
こんなもんか

ほんのちよびつと、
オークの人格を
混ぜただけだが、
すっかり汚濁したな

酒に一滴の泥水を
混ぜれば
それは全て泥水、
ということ



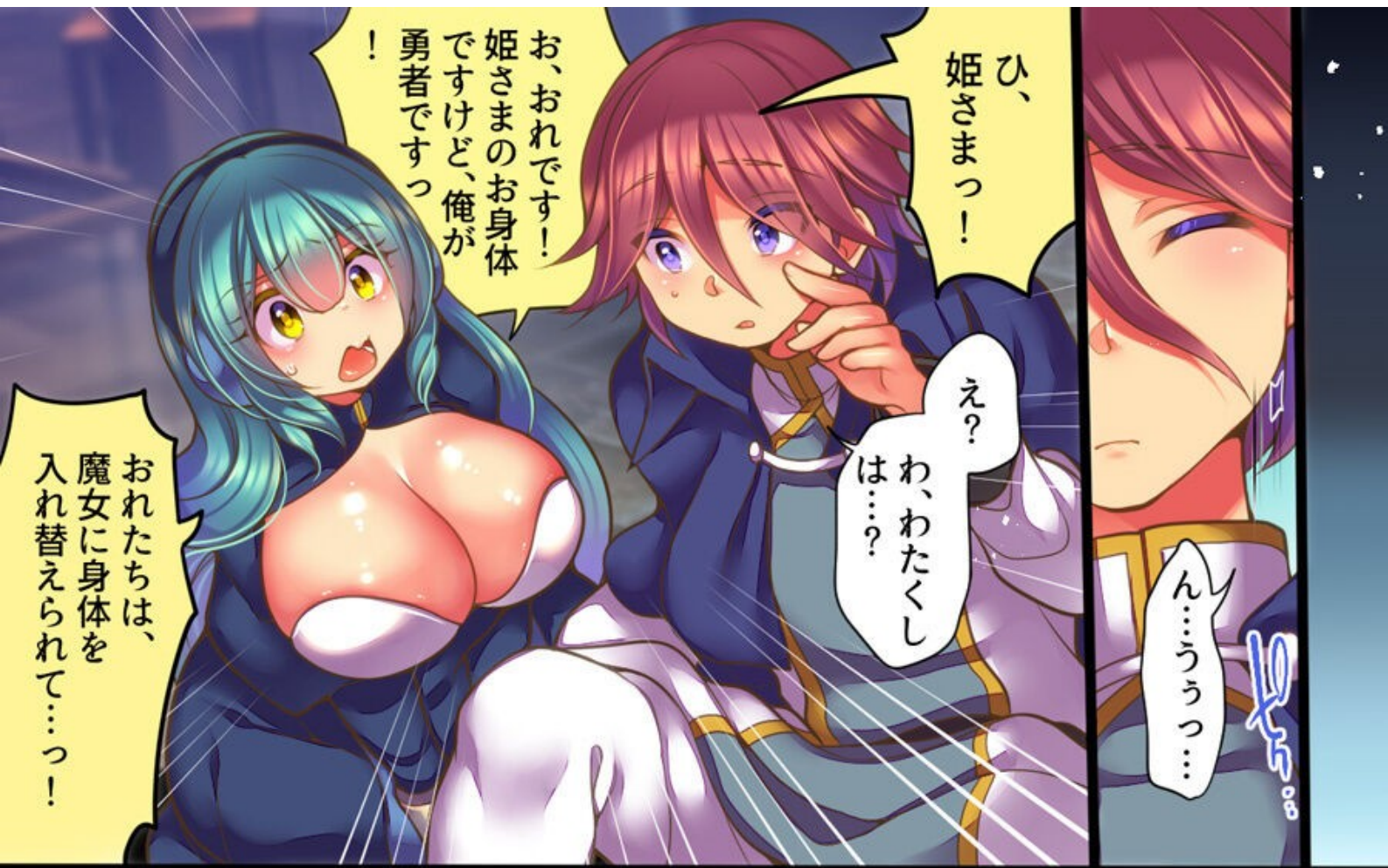
あああ…

さてこれを…



っ！

フッ



ひ、
姫さまっ！

お、おれです！
姫さまのお身体
ですけど、俺が
勇者ですっ

え？

わ、わたくし
は……？

ん……ううっ……

おれたちは、
魔女に身体を
入れ替えられて……っ！



わ、わたくしっ、
勇者さまの
お身体に……!?

おい魔女！

すぐに俺と
姫さまを元の
身体に戻せ！

おやおや

せっかくそんなエロい
身体になれたのに
なにが不満なんだ？

まあお前さんはともかく、
姫サマのほうは、今の身体を
お気に召したようだぜ？

…え？

…ひ、姫…
さま…？

な、なぜ
でしょう…

私の身体になった
勇者さまを見てみると…
身体が、あ、熱く…

が、我慢が…

ブ、ブヒツ…っ

ひ、姫さまっ！
だ、だめですっ！

これは、姫さまの
お身体ですよっ！

ごめんなさい！

ゆ、勇者さまっ！

少しの間、私の身体で

我慢してくださいっ！

フゴツ！！

ああっ!!?

あ、あの清純な
姫さまがっ

どうして
こんなっ!?

あーあ、
お姫さまったら
すっかり発情
しちゃって

でもオークの人格を
魂に混ぜこまれ
ちゃったんだから、
無理もないよなあ

元の自分の身体に
欲情してブヒブヒ
言ってる姿、オーク
そのものだなあ

襲われちゃ
めんどいから、
俺は離れたところで
見物させてもらうぜ

ひ、姫さまっ、
お気を確かにつ!

だめ、ですっ……!
フ、フゴッ!

勇者さまの身体を見てる
とっ…触れているとっ…
ブヒッ…ブヒヒッ!

元の自分の身体なのに…
勇者さまが、すごい
エッチに見えて…っ!

身体の下の方が熱く
なるのがっ…もう
耐えられないっ…

あっ…ああっ…

な、なんだ
今の声!?

俺の口から?

ははは、
身体は
正直だなあ

ち、
ちがうっ!

おれは姫さまの
お身体で
感じてなんて…

ひああっ!!?

だ、だめですっ
姫さま!

ひあっ!

はあ、

んうっ!

くそっ
姫さまのお身体で
こんなことをしちゃ
いけないのに…

姫さまのお身体が
こんな…こんなに…っ!



おっく
突かれるたびっ!
かってに肉が収縮して、
入れられてるモノを
締め付けてしまうっ!

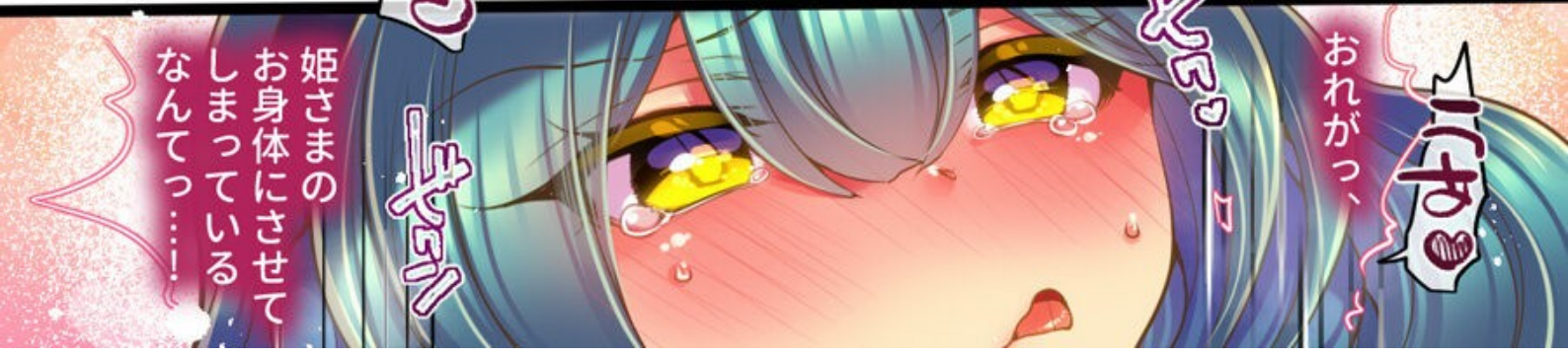


ひ、ひめさまの
お身体が…こんな
気持ちがいいなんてっ!!



もっと快感が
欲しくて、
からだか
かってに動い
てしまうっ……!

こんな…
こんな娼婦の
ような淫らな
仕草を、
姫さまが…



おれがっ、

姫さまの
お身体にさせて
しまっている
なんてっ……!



あつ!
だ、ダメです...っ!
ぶひっ...
な、なにか...
私の中からなにか出てきます...っ!!
あ...ああ...っ

大切な、
姫さまの
お身体っ...!!
汚すわけには...!!



だめ...だめ
なのに...っ

勇者さま...
受け止めて
くださいっ!!

フゴオオオ
オオツツ!!

ああああああ
ああつつつつ!!

受け入れるしか…
ないなんて…っ!!

あ…あああ…

そんな…

姫さまのお身体を…
汚してしまったなんて…

姫さまを
お守り
できなかった…

なんて…!!



うっ!!

これは…勇者さまの人格…?



トッ

…身体を移ったばかりだと、人格は安定していかないからな



はあ…はあ…

わ、わたくし…元の身体に戻って…?



そうだ

お前たちは元の自分の身体に戻れる

ハッピーエンドってわけだ



これを勇者さまの身体に戻せば…っ!

で、では!



射精のショックで体外に飛び出してしまったのさ



…この人格は
勇者さまの
お身体に
入れるべき

私は私の
身体に…

そして

勇者さまは
勇者さまの
身体へ

それで
ぜんぶ元通り

……で
……でも



頭に残って
離れないん
だろう？

さっきの
男の快樂が

っ！



でも、それで
いいのか？

っ！
!?

姫さまは元のその
身体に戻って、
それで幸せなのかな？

わ、わたくし
は……！



本当にお姫さまが、
欲しい身体は、
こっちなんだろ？

あっ…

今のお姫さまの身体じゃ、
もう二度とあの男の射精の
快感は味わえない

でもあの勇者さまの
身体を得れば、好きだけで
あの快感が味わえる

きつきつのお肉が、
ぎゅうぎゅうと自分のモノを
締め付けてくる感覚…

その中に、自分の精を
解き放つあの快感…

そ、そうだ…
この身体じゃ…あの感覚は
もう二度と味わえない…

…ブ、ブヒっ…!

い…いやだ…
あれがもう一生
味わえないなんて…

で、でも、
だめですっ…!…!

勇者さまは
元の身体に
戻りたいはず…!

その思いを裏切る
わけにはっ…!…!

それなら、勇者さまの
人格もオンナの身体に
馴染ませてしまえばいい

…??

これは
サキュバスから
抽出した人格だ

サキュバスは
知ってんだろ？



人間から精液を
恵んでもらって
生きる、

犬くらいの知能
しかない淫乱な
魔物の人格液さ

これを勇者さまの
人格に混ぜれば、
勇者さまも淫乱な
メスの人格に
汚染されるだろう

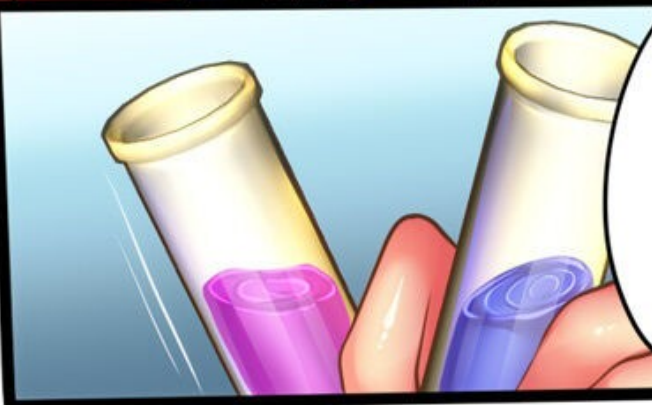
きつと姫さまの
身体を気に入る
ようになるさ



こ…これを…
混ぜれば…

勇者さまが…
私の身体を気に入
りてくれる…？

ああ、そして今なら
入れ替わった後も
人格液をその身体で
安定化させる薬も
つけてやろう



…れて…

ん？



入れて…
ください

これでお前たちは
互いの身体で
生きていくことが
できる



さあ、どうする
お姫さま？
ワシはどちらでも
構わないが？

勇者さまの人格に、
そのサキュバスの人格を
混ぜ込んであげて
ください！

仕方ねえな

姫さまの
頼みだ

たっぷり
注いでやるよ

ああ、勇者さまの
人格がプルプル
震えてるっ…

異物を混入
されるのを
嫌がっているの
でしょうか

ああ…勇者さまの
人格がどんどん
変色していく…

あんなに
透き通った色だったのに、
どんどん卑猥な色に
変わっていくっ！

大丈夫ですよ、
勇者さま

受け入れて
ください

フゴッ、フゴッ...

「ごめんなさいっ
勇者さまっ!」

勇者さまの人格を
汚してしまっているのにつ

取り返しをつかない
ことをしているのにつ

フゴッ、
フゴッ!

...さ、これで
全部注ぎ終えた

わたくしっ...
そのことに
どうしようも
ないほど
興奮してる...っ!

勇者さま...
ごめん
なさいっ.....

っ...っ
っ...っ
っ...っ

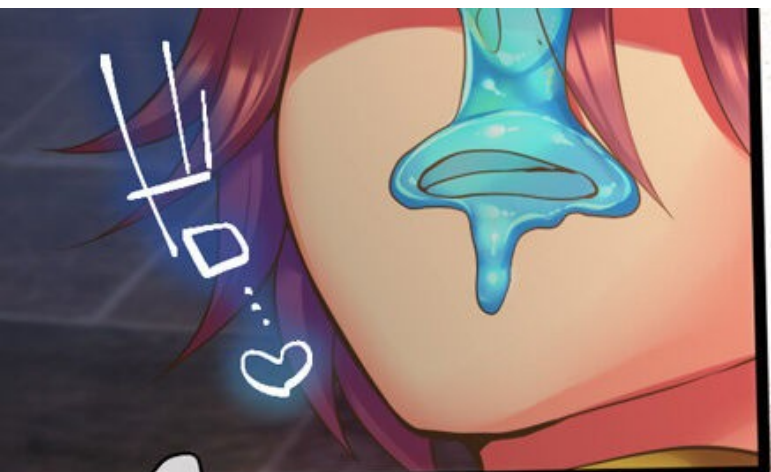
フゴッ、フゴッ

フゴッ、フゴッ

っ...



フゴッ
フゴッ



ハ...♡

お、おれ...
は...



...?

あ、あえ...

あ、あえ...?
おれえ、
どうなってえ...?
おれえ、
おれえ、



っはああ...
ああ...っ!

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...



あれえ…？

おれ、おんなのこのからだになつてゐる…？

おれって…
おんなのこだったっけ？

…申し訳
ございません、
勇者さま

わたくしが
勇者さまをこんな…

？



…？

なんでおれが、
もう1人
いるの…？

はははっ、淫魔の人格に
人格を汚染されたせいで、
知能も低下しちまった
みたいだなあ

今の勇者サマには
状況を理解する
知能もない

責任は…
取らせて
いただきますから!!

おん



ああん♡!!

あああんっ!

やあっ♡
なにこれえ♡

勇者さまっ…!!
ぶぶぶひっ…!!

ぶひっ!!

あんっ♡!!

気持ち
いいっ♡

あーん♡

あーん♡

勇者
さまっ！

あの勇者さまがっ
私の身体で、こんな
はしたない顔…!!

かわいいですっ！
エッチです…!!
メチャクチャに
したいっ！

ぶひっ！
ごめんなさいっ！
勇者さま
ごめんなさいっ！

きもちいいっ♡!
おちんちん
気持ちいいっ♡

おっ♡…

もっと
おちんちん
ほしい♡

こんな
私の身体を押し付けて、
こんな淫らな女の子に
してしまっって本当に
ごめんなさいっ！

あっ♡
あんっ♡

あーあー
あーあー

あんっ♡!
きてっ♡

注いで
あげますっ!!
勇者さまっ!!
ぶひっッ!!!

あーあー
あーあー

あーあー
あーあー

あーあー
あーあー

あーあー
あーあー

あーあー

フゴオオオ
オオオツ!!

フゴッ!

あーあー
あーあー





あああ あああ あああ あああ あああ
つ♡♡♡!!!

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

勇者さまっ……!!
勇者さまっ……!!

こうして勇者は
姫さまを悪い魔女
から助け出して

2人は
いつまでも幸せに
暮らしましたとき

くくっ

あんっ♡
んあんっ♡

さーて楽しませて
もらったし、
俺は失礼するか

末永く
お幸せにな、
お2人さん

ニヤッ♡
ニヤッ♡

ニヤッ♡
ニヤッ♡

♡

あーやっぱり
この世界は
いいなあ

こうして
新しい身体も
手に入れたし

これからも
まだまだ、
楽しませて
もらおうとするか

END